ニムロード・ゲズ & 世古隆蔵

デュオリサイタル

Duo Recital

2025年 9月18日(木)

18:00開場 18:30開演

会場 ムジカーザ

〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1

プログラム

R. シューマン
おとぎの絵本 作品113

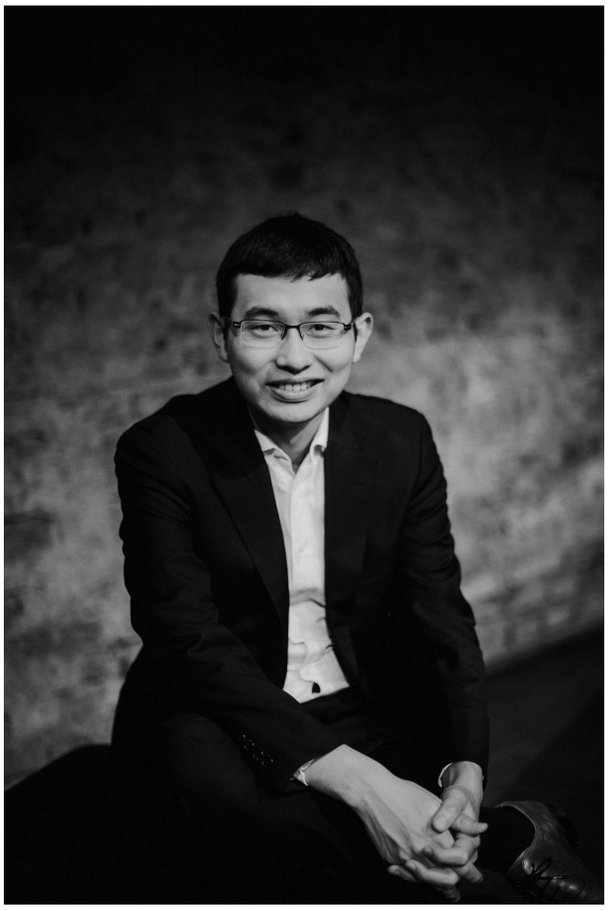
C. フランク
ヴァイオリン・ソナタ イ長調

P. ヒンデミット
ソナタ 作品11-4 他

・プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

【チケット】一般：4,000円 学生：2,000円
【お問い合わせ】nimrod.ryuzo.recital@gmail.com
【お申し込み】右側のQRコードまたはお問い合わせメールアドレスよりお申し込みください。

主催：ニムロード・ゲズ & 世古隆蔵 デュオリサイタル2025実行委員会



ニムロード・ゲズ

1977年イスラエル生まれ。7歳のころヴァイオリンを始め、 ナホム・リーバーマン、イロナ・フェハー、シュロモ・ティンパルバー、ハイム・タウブの各氏に手ほどきを受ける。16歳でヴィオラの世界的名手タベア・ツィンマーマンと出会い、ヴィオラに転向。 1996年よりドイツのフランクフルト音楽大学の彼女のクラスで学んだ。フランクフルトで5年間勉強した後、2001年にリューベックに移り、ノラ・ チャステイン教授のクラスでヴァイオリニストとしての勉強を続けた。2002年から2004年にかけては、ヴァイオリンの勉強と並行して、バーバラ・ウェストファル教授にヴィオラの研鑽も積んだ。またAmerican-Israel Foundationより奨学金を受け、2002年の"Aviv"コンクールで優勝した。

2005年には、名門ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の第一首席ヴィオラ奏者に就任。 その後移籍し、2008年から2012年の間、彼は世界最高峰のオーケストラ、バイエルン放送交響楽団で第一首席ヴィオラ奏者のポジションに就いていた。

2012年からはヴュルツブルク音楽大学でヴィオラ科教授として後進の指導にあたっている。また、2019年からはそれと並行してヨーロッパ室内管弦楽団で首席ヴィオリストを務めた。同時に彼は古楽をこよなく愛しており、2010年よりバロックヴァイオリンでの演奏活動も始めた。 バイエルン放送交響楽団のメンバーと共に古楽アンサンブル「アカデミア・ジョコーザ」を結成。

ソロと室内楽においてもヴィオリスト、ヴァイオリニスト、バロック ヴァイオリニストとして活発に活動し、ユトレヒト 、ロッケンハウスなどの多くのフェスティバルで、ヴァイオリニストのジャニーヌ・ヤンセン、ヴィルデ・フラング、リザ・フェルシュトマン、チェリストのニコラ・アルトシュテット、マキシミリアン・ホルヌングら世界的な名手たちと頻繁に共演している。

世古隆蔵

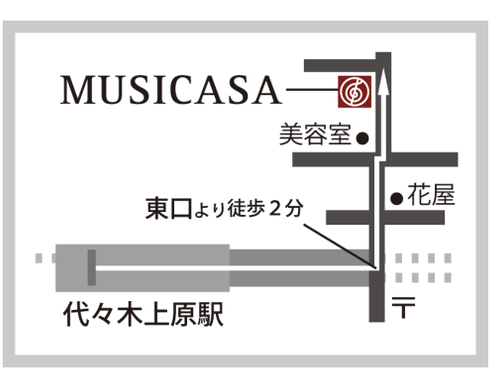
1988年三重県生まれ。5歳より井上都氏に師事し、ピアノを始める。

2012年東京大学経済学部を卒業後、渡独。ゲオルク・アウグスト大学ゲッティンゲンを経て、ミュンヘン音楽・演劇大学でピアノ科学士課程、修士課程、歌曲伴奏科をすべて首席で卒業。

2018年よりヴュルツブルク音楽大学で弦楽科伴奏の非常勤講師を、 2025年4月より、マインツ音楽大学弦楽科の常勤伴奏講師をそれぞれ務める。

2023年度ミュンヘン国際音楽コンクールコントラバス部門の公式伴奏者を務めた。

これまでに、ピアノを井上都、トーマス・ベッケラー、田崎悦子各氏に、歌曲伴奏をルディー・スプリング氏に師事。



会場へのアクセス

代々木上原駅(小田急線・東京メトロ千代田線) 東口より徒歩2分
幡ヶ谷駅(京王新線) 南口より徒歩12分

MUSICASA (ムジカーザ)
〒151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1
※一般のお客様用駐車場はございませんので、お近くのコインパーキングをご利用ください。